



ケース② 社会福祉法人新栄会 新宿区立富久町保育園

# 子どもから 出発する 保育を

子ども主体の保育がしたい——。  
そう考えていた学生時代、  
日野さんが出会ったのは  
子ども主体を追求する  
とある保育園だった。

## あの日の言葉が、保育士になる自信に。

実習最終日。日野さんに嬉しい誘いがあった。「主任から『よかったらバイトしてみない?』と声をかけてもらったんです。実習中、新栄会の『子どもから出発する保育』を目の当たりにして興味を持っていました。嬉しかったですね。当時、保育士になる自信が持てないと悩んでいたこともあり『良い機会をもらえた!』

と即決。バイト初日、緊張しながら保育室に入ったら、子どもたちがわたしのことを覚えてくれていて…感激したことを覚えています。バイトを通して少しずつできることが増え、自信も持てるようになり『やっぱり保育士っていいな』と思えるように。あの時、思い切って飛び込んで、本当に良かったです」

## 対話から始まる子ども主体に、共感の日々。

「バイト時代は、保育園の日がとにかく楽しみでした!」と日野さん。「新栄会の『子どもから出発する保育』が、わたしの『子ども主体を大切にしたい』という想いにぴったりで。例えば新栄会では、言葉の出ない0歳児と接する時でも対話から保育が始まるんです。保育士が

「この子は今、どんな気持ちだろう?何に興味があるんだろう?」と考え、その子の表情や仕草から興味を探る。そして、その子の気持ちを代弁するように保育士から言葉をかける。そんな観察と対話を基本に、子どもの気持ちに寄り添う保育。知るほどに共感が深まりました」

## 見比べたから見えてきた、子ども主体への道

3年生3月。始めた就活では新栄会以外にも目を向け5~6園を見学したそう。「子ども主体の難しさを感じたのがその頃です。1日の流れの中で、どうしても大人都合になってしまう瞬間があることを色んな園で目にして…。そんな時、ふと『新栄会ではなかったな』と。フォーロウに入れる保育士が常について、どんな時にも

子どものペースを待つゆとりがあったんです」その後も他園を見学する度に新栄会での経験が頭をよぎった。「やっぱり新栄会の保育がしっくりくる。その思いが膨らみました。また、バイトを通して、裏表なく明るい先生ばかりと知っていたので人間関係の不安が全くない安心感にも背中を押され、就職を決めました」

## 学生時代より今が楽しい。笑顔の秘訣は…

「働き始めた今の方が、学生時代より楽しいんです」と日野さん。「学生の頃より深く子どもと向き合える分、保育が楽しくって!子どもの気持ちを汲みとれた時って、0歳児でも『そう、それ!』っていう顔をするんですよ(笑)。そんな時は『あ、この子と対話ができた!』と実感できて…大げさですが感動します。今後も先輩たちから子どもから出発する

保育をどんどん学んで、一人ひとりの子どもの気持ちを汲みとれる保育士になりたいです」  
子ども主体の保育に興味がある。学生のうちに、保育現場を知りたい。それならば、まず一度、新栄会を訪れてみてほしい。日野さんのように、保育を楽しむ秘訣が見つかるはずだ。



Hino Ayaka

東京家政大学 卒業  
2019年4月 入職  
日野 彩夏

新卒3年目。同僚から「日野ちゃん」の愛称で親しまれている。「子どもの世界を壊さず、そっと寄り添える保育士」と太鼓判を押される期待の新人。



### バイト時代の思い出

アルバイト時代から使っているエプロンは、主任からのプレゼント。「学生ながら子どもに寄り添おうと日々頑張る姿を見て、応援の気持ちを込めました」と主任。

社会福祉法人新栄会  
(取材園:新宿区立富久町保育園)

法人情報  
東京都新宿区  
百人町3-21-14  
(本部事務局)  
☎03-3360-4082  
設立:1930年5月

求人情報はこちら

“子どもから出発する保育”を掲げ、子どもが自ら考え、やってみたいと思うことを尊重する保育を实践。子ども中心の保育实现のため、手厚い職員配置や協力的体制で、子どもとゆったり関わる環境を整備。新宿で保育園3園、認定こども園1園、学童クラブ・児童館を運営。

オンライン  
園見学

オンライン  
説明会

オンライン  
相談会

©2021年7月31日現在